

平成25年10月31日
水産庁

水産物の市況について（平成25年10月及び11月）

—東京都中央卸売市場における平成25年10月（平成25年9月21日～10月20日集計）の市況と、
平成25年11月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成25年10月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月並みとなり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや弱含みに推移しました。

II 平成25年11月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量はアキサケがやや増加するが、全体では前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、引き続き需要が強くなることから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、需要のピークが過ぎていることから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸主体に犬吠埼～房総沿岸、九州西方海域）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は赤身は堅調相場が続いているものの全体では横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べ減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さんま（生鮮品）」

入荷量は前月と比べ減少すると見込まれるものの、サイズが小さいこともあり卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	10月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
25年	45	858	45	888	41	883
前年	49	783	48	780	43	817

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
注2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格
(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	10月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	597	93	76	116
さけ・ます(平均)	828	108	188	137
(ぎんざけ塩蔵品)	869	127	157	131
(あきさけ塩蔵品)	1,095	150	178	222
(ときさけ塩蔵品)	833	106	114	104
(べにざけ塩蔵品)	1,060	111	133	112
(さけ類冷凍品)	753	100	200	134
さば(生鮮品)	482	115	100	108
するめいか(平均)	456	99	102	111
(生鮮品)	472	101	98	111
(冷凍品)	425	100	119	119
あじ(生鮮品)	590	96	98	119
まぐろ(冷凍品)	1,304	96	104	95
(めばち冷凍品)	986	104	110	99
(きはだ冷凍品)	1,032	115	105	103
(くろまぐろ冷凍品)	3,883	100	102	112
(みなみまぐろ冷凍品)	1,688	82	70	76
かつお(生鮮品)	866	110	125	135
さんま(生鮮品)	384	78	101	125

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:10月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成20年~24年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 岡野、庄田、安井
直通 03-3591-5612